

県議会の傍聴をポスターで呼びかけ いわての未来は わたしが築く。

岩手県議会では、選挙権年齢の18歳以上への引き下げに伴い、若いみなさんに県議会への興味・関心を高めてもらうため、県議会傍聴案内ポスターデザインコンテストを実施しました。若い豊かな感性で描かれた作品の応募が多数あり、その中から選ばれた入賞4作品と制作者の感想を紹介します。



吉村 衣乃さん

岩淵 音和さん
村田 桃華さん

鈴木 優芽さん

受賞者の感想

★入賞

吉村 衣乃さん

(岩手県立盛岡農業高等学校)

「若い人たちが、県議会にカモン！」と明るく呼びかけるポスターです。1人より2人、2人より3人でみんなで県議会に行こうよ。私たちが描いたポスターを見て、若者たちが県議会に関心を持ってくれたらうれしいです。私は今回、初めて議場に入りましたが、きれいな所が引き締まりました。

★議長賞

村田 桃華さん

(岩手県立盛岡農業高等学校)

これからの岩手を創っていくのは若い私たちなので、若者を主人公にしました。手に掲げる灯りは、未来を照らす象徴。みんなで明るく未来を盛り上げていきたい。炎が発する暖かい色が一番工夫した点です。ポスターを見て、若い人たちが県議会の傍聴に来てくれればいいなと思います。

★副議長賞

岩淵 音和さん

(岩手県立一関第一高等学校)

若い人に「岩手の未来を創っていく」という意識を持ってもらえるように、岩手県を彫刻している高校生たちを描きました。立体作品のイメージです。配色を工夫することで、高校生が目立つようにしました。若い人たちが積極性をもって議会や政治に参加する岩手であってほしいと思います。

★入賞

鈴木 優芽さん

(岩手県立盛岡農業高等学校)

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」がモチーフです。駅名の看板の行先「現在～未来」に注目してほしいです。現在の岩手が銀河鉄道のように輝く未来に向かってほしいという願いを込めました。輝く星の下、銀河鉄道と一緒に、私たち高校生も未来に向かって頑張っていきたいと思います。

※写真撮影のためマスクを外しています。

いわて県議会だより

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY

9月定例会

9月定例会は、9月30日から10月31日まで開催されました。知事から提出された令和3年度岩手県一般会計歳入歳出決算など15件を認定したほか、令和4年度岩手県一般会計補正予算(第4号)など、知事から出された42件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議など11件の議案は全て可決されました。また、請願は2件が採択、4件が不採択となりました。



採決の様子

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

◎令和3年度決算【認定】

一般会計1件、特別会計10件、企業会計4件

◎令和4年度補正予算【可決】

一般会計2件、特別会計7件

◎予算関連議案【可決】

農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関

する議決の変更に関し議決を求めることについてなど16件

◎条例議案【可決】

岩手県固定資産評価審議会条例の一部を改正する条例など15件

◎人事議案【同意】

教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについてなど2件

◎委員会提出議案【可決】

北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議など決議1件、意見書10件(詳細は2ページに記載)

◎不採択

- ▶消費税インボイス制度の実施凍結または中止を求める請願
- ▶mRNAワクチンの有効性と安全性が確立されるまで接種延期等の請願
- ▶感染対策として予防効果が疑わしいmRNAワクチン接種の政策評価・緊急対策等の請願
- ▶5～11歳への新型コロナワクチン接種の努力義務規定の撤回と子供・若者への新型コロナワクチン接種の即時中止を国へ求める意見書提出の請願

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

◎採択

- ▶福祉灯油の全市町村での実施を求める請願
- ▶医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願



令和4年9月定例会

第184号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジジー版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより第182号」から、音声データを岩手県議会ホームページに掲載しています。第184号のデータは、12月下旬に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・
問い合わせ先

岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022 FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp

岩手県庁の隣です



委員会が提出した議案

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では決議1件、意見書10件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎決議

▶北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議

◎意見書

▶医療、介護、保育、福祉などの職場で働く全ての労働者の大幅賃上げを求める意見書
▶コロナ後遺症及びワクチン後遺症への対応強化を求める意見書

▶旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書
▶環境教育及び学校施設のZEB化の更なる推進を求める意見書
▶農林水産業における燃油、肥料・飼料、資材等の価格高騰対策の拡充に関する意見書
▶地方における鉄道ネットワークの維持を求める意見書
▶日本海溝・千島海溝で発生する地震・津波による被害を最小限にとどめるための防災・減災対策に関する財政支援を求める意見書
▶全国旅行支援の追加予算措置を求める意見書
▶専修学校高等課程に対する国の支援を求める意見書
▶高等学校等就学支援金制度の所得制限の撤廃を求める意見書

県政に関する質問から

10月7日から10月12日まで行われた一般質問では、8名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

10/7(金) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

希望いわて

こにし かずこ
小西 和子 議員

【盛岡選挙区】



2人目

いわて県民クラブ

さ さ き つとむ
佐々木 努 議員

【奥州選挙区】



3人目

自由民主党

じょうない
城内 よしひこ 議員

【宮古選挙区】



いわての子ども基本条例(仮称)の制定

問 子どもをめぐる問題を抜本的に解決し、養育、教育、保健、医療、福祉などの子どもの権利施策を幅広く、整合性をもって実施するためのこども基本法が令和5年4月1日に施行される。そこで、岩手の子どもの幸福度向上のために、こども基本法に基づいた、いわての子ども基本条例(仮称)を制定すべきと考えるがいかがか。

答 国連の子どもの権利条約の考え方を基本理念に盛り込むこども基本法の成立により、子どもの権利条約に沿った考え方が子ども施策の共通基盤として明確化されたものとする。

本県では、県民が安心して子どもを生み育てることができる環境の整備を図り、一人ひとりの子どもを健やかに育むことができる社会の実現を目指し、いわての子どもを健やかに育む条例を平成27年4月に施行し、子どもの支援に当たっては子どもの権利を尊重し、最善の利益を考慮することを基本理念として盛り込んでいる。

今後もこども基本法の趣旨を踏まえ、条例の基本計画であるいわて子どもプランに掲げる、子どもの生きる力を育むための教育環境の整備や児童虐待防止、子どもの貧困対策などの施策を着実に実施し、子どもの権利の尊重や権利擁護の取り組みを推進していく。



笑顔の子どもたち

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 不登校児童生徒の教育機会の確保
- 2 パートナーシップ制度の導入
- 3 防災減災対策の推進
- 4 教職員の確保と働き方改革 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



胆江二次医療圏(奥州市・金ヶ崎町地域)の公的医療機関の再編

問 胆江二次医療圏は医療機関が多数存在し、医療資源に比較的恵まれている地域であるが、人口減少が進む中では公立病院の経営悪化が市財政のひっ迫につながっていることも否めない。奥州市では総合水沢病院の建て替えを含めた市立病院のあり方の議論が進められており、持続可能で希望ある岩手の医療体制実現のため、県が主体となって胆江医療圏の県立・市立病院の統合再編の議論を行うべきと考えるがいかがか。

答 経営効率化の観点から医療機関の統合再編も一つの方向性ではあるが、地域に必要な医療を確保していくためには、地域の課題を踏まえ、医療機能の転換、医療と介護の連携など様々な視点から丁寧に議論することが重要である。

奥州市では、市立病院・診療所を維持する方針の下、総合水沢病院の建て替え計画は、県立病院を補完する機能や県南広域の周産期医療を守るためのサポート機能を担うものとして検討を進めており、年度内に胆江医療圏の地域医療構想調整会議で協議すると聞いている。県は、地域医療構想との整合性について積極的に助言を行う役割を担っていると認識しており、データの提供や地域医療構想アドバイザーの派遣などを通じて引き続き支援を行っていく。



奥州市総合水沢病院

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 結婚・出産・子育て支援
- 2 教育の充実
- 3 県有種雄牛の造成の現状と課題
- 4 家畜排せつ物を利用したバイオマス発電

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



サーモン養殖の取り組み

問 ここ数年、県内の主要魚種であるサケの不漁対策として、県内の漁業協同組合ではサーモン養殖に挑戦し実績を上げているが、ご当地サーモンの域を出ていない。一大産地としてブランド化を図るためには、さらに生産量を増やすべきである。

県内で海面養殖用種苗の生産やエサの開発などを行うことによって生産コストの軽減を図り、量産体制を構築する必要があると考えるが、県の取り組みについて伺う。

答 県内では、久慈、宮古、大槌など6地区においてサケ、マス類の海面養殖が行われており、生産量は増加してきている。養殖規模のさらなる拡大に向けては海面養殖用種苗の安定的な確保が課題となっている。

このため、県では今年度創設した「さけ、まず海面養殖イノベーション推進事業」により、ICTを活用した養殖用種苗の効率的な生産の実証や、県内の内水面養殖事業者と連携してギンザケやサクラマスの安定的な種苗供給体制の構築に向けて取り組んでいる。

こうした取り組みなどにより、来年度のサケ、マス類の海面養殖の生産量は、今年度の1.5倍となる約1,700トン計画している。県としては引き続き海面養殖などの拡大に向けて積極的に取り組んでいく。



養殖場の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 港湾振興
- 3 道路整備
- 4 警察活動の諸課題 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



決算特別委員会のあらまし

決算特別委員会は、一般会計や特別会計などの決算が議会に提出された際、その審査のために開催されます。今年度は、10月18日から10月27日まで開催され、審査が行われました。

委員長には名須川晋委員(希望いわて、花巻選挙区)、副委員長には川村伸浩委員(自由民主党、花巻選挙区)が選出され、決算の内容や関連する施策の取り組み状況などについて、活発な議論が交わされました。

令和3年度一般会計の決算額は、歳入が約9,971億円(対前年度比10.6%減)、歳出が約9,395億円(同8.1%減)です。

審査の結果、一般会計については、次の附帯意見を付し、原案どおり認定されました。

今後の事業執行にあたっては、次の点に留意されたい。

人口減少対策として、これまでの事業成果が人口の自然増や社会減の克服に結びついていない要因をより詳細に分析したうえで、若者の県外流出の抑制や結婚、妊娠、出産、子育て環境の充実などの施策の強化に努めること。

新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止に万全を期すとともに医療従事者の確保・定着と医師の偏在の是正等による医療提供体制の強化を図ること。併せて、物価高騰対策も含めた県内事業者等を支える取組を適時適切に実施すること。

東日本大震災津波から11年が経過し、復旧・復興の歩みは着実に進められているが、被災者のこころのケアやなりわいの再生などに引き続き取り組むこと。

D Xの活用等による職員の業務の効率化と行政経費の縮減を図り、将来への投資と市町村との連携、協働に対し重点的な配分を行い、効率的な行財政運営に努めること。

持続可能で希望ある岩手を実現するための行財政改革に関する報告書に示された提言について、県民からの様々な意見を聞きながら具体的な議論を進めること。

その他の各会計の決算や関連議案も、原案どおり認定、可決されました。

10/11(火) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会議中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

自由民主党

やました まさかつ
山下 正勝 議員

【二戸選挙区】



2人目

希望いわて

な す か わ し ん
名須川 晋 議員

【花巻選挙区】



3人目

希望いわて

やなぎむら まこと
柳村 一 議員

【滝沢選挙区】



県北振興のこれまでの成果及び評価

問 県は、県北振興を県政の重要施策の一つに掲げ、県北地域のポテンシャルを生かした地域振興、産業振興を進めてきたが、一方で新型コロナウイルス感染症により、十分な成果が上げられなかった施策もある。いわて県民計画第1期アクションプランにより進めてきた県北振興の取り組みの成果について、どのように評価しているのか伺う。

答 県では、県北・沿岸振興を県政の重要課題に位置づけ、県北・沿岸振興本部を中心に全庁挙げて取り組みを進めてきた。産業振興に関しては、プロイラー産業などの食品事業者の業容拡大を支援したほか、アパレル産業や漆産業など特徴ある地域産業のブランド化などに取り組んできた結果、県北圏域の製造品出荷額は、令和元年度には1,292億円に増加したほか、一人当たりの市町村民所得も着実に県平均に近づいてきている。

歴史や伝統文化に関しても、“奥南部”漆物語の日本遺産認定や、漆掻きのユネスコ無形文化遺産登録、御所野遺跡を含む北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録など、国内外から高い評価をいただいている。また、再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みも開始されており、県北地域のポテンシャルを生かす新たなステージを迎えていると認識している。



高森高原風力発電所

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 第1次産業の振興
- 3 再生可能エネルギー
- 4 知事の政治姿勢

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



併設型中高一貫教育校の新設

問 花巻市では、市外の高等学校に進学する生徒がおり、保護者などに時間的、金銭的な負担が生じている現状がある。意欲ある子どもたちにより良い学習環境を提供するため、次世代リーダーの育成を目指し、併設型中高一貫教育校として一定の成果を挙げている一関第一高等学校を好事例として、中部地域の進学の拠点校である花巻北高等学校を対象に併設型中高一貫教育校を新設すべきと考えるが、所見を伺う。

答 平成21年度に設置した一関第一高校附属中学校では、中高一貫した6年間で計画的・継続的に探究的な学びに取り組むとともに、令和元年度からは文部科学省によるスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受け、大学などと連携した探究学習などを行うことで、科学的素養を備えた人材育成にも取り組むことにより、医学部医学科や難関大学などへの進学実績が出てきており、県政課題となっている医師などの確保にもつながっている。

新たな併設型中高一貫教育校の設置については、同校の成果のほか、児童生徒数の推移や中高一貫教育校を導入した際の地域の義務教育への影響などを十分に見極めるとともに、今後の高校再編のあり方なども含め、方向性を検討する必要があると考えている。



授業の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 地域公共交通の維持確保
- 2 人口減少社会への対応
- 3 ウィズコロナを見据えた観光施策
- 4 農林水産業の振興 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



いわてIT産業成長戦略

問 近年、これまで以上にデジタル化の重要性が明らかになってきており、さらなるIT技術の進化とサービスが求められている。県は、IT産業振興の新たな取り組みを推進するため、県内の産学行政が今後の目指す姿を共有し、一体となった取り組みを進めていくための目標、戦略及び行動計画を示すものとして、いわてIT産業成長戦略を策定しているが、進捗状況と今後の取り組みについて伺う。

答 この戦略は、令和2年度から10年度までを計画期間とし、IT産業の年間売上高を平成28年の340億円余から850億円まで引き上げることを目標に掲げており、令和3年の実績は520億円余まで増加している。令和3年度はIT企業と半導体・医療機器メーカーとのマッチングを促進し、新規取引成約が6件、セキュリティ関連の上場企業の県内への本店移転を含めた誘致が5件となっているほか、ものづくり企業の技術者や大学生を対象とした高度IT技術者講座を12講座開催した。

今後は、今年度設置した中小企業デジタル化支援ネットワークへのIT企業の参画を通じてデジタル化に取り組む幅広い分野の県内企業とのマッチングを図り、本県産業のデジタル化の促進、生産性向上や高付加価値化、生活分野の利便性の向上に結び付けていく。



講座の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)
- 2 人口減少対策
- 3 林業振興
- 4 地球温暖化対策

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。
 ※視聴環境は Wi-Fi および各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
 ※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止の亚克力板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

いわて新国会

佐々木 朋和 議員

【一関選挙区】



物価高騰対策支援金

問 物価高騰対策支援金の活用が思うように進んでいない。業種を絞ることなく支援対象としたことは評価するが、事業者からは要件が厳しく証拠書類の準備が大変だという声があがっている。また、相談及び申請の窓口が、地元の商工団体ではなく盛岡市に新設された事務局となっており、相談体制も不十分である。県の物価高騰対策支援金の制度設計の経緯と、今後の対応策を伺う。

答 制度設計にあたっては、コロナ禍による売上減少、原材料価格や資材価格の高騰を踏まえ、幅広い事業者に対する支援が必要と考えた。一方で、支援を行っていくためには多額の財源を要することから、売上減少や仕入れ価格の上昇、また、支給額についても一定の要件を設定したものである。

支給実績が低調な要因は、これまでの地域企業経営支援金や家賃補助に比べて支給額が少額であることや、確認書類が多くなったことなどにより事業者の負担が増え、事務局の審査にも時間を要していることによるものと認識している。

今後は商工指導団体などを通じて、支援金の活用についての情報提供を改めて徹底するとともに、多くの事業者に活用されるよう確認書類の見直しなどを含めた検討を進めていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 岩手の教育課題
- 2 世界遺産拡張登録
- 3 公共交通政策
- 4 栗駒山須川コースの通行止め解除 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



2人目

日本共産党

高田 一郎 議員

【一関選挙区】



高齢者施設での感染対策と減収対策

問 新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した高齢者施設では、デイサービスなどの休止や利用控えによる減収のほか、介護職員の離職による人材不足の中で事業を継続している。クラスターが発生した高齢者施設の減収と経営への影響及び人材不足の実態をどのように把握しているのか伺う。

また、休業による介護報酬の減収分は、事業所の自己負担となっており、今後の介護基盤を守るためにも財政的な支援が必要と考えるがいかがか。

答 高齢者施設などでクラスターが多発した令和4年8月に臨時休業を行った事業所は85カ所であり、対前年比で8.5倍となっている。休止期間中は介護報酬が得られず再開後も利用者数が平時の状態に戻るまで減収が続くため、経営に大きな影響を及ぼしているものと認識している。また、感染した職員がクラスター収束後に離職する事例があると聞いており、人材不足の一因となっているものと考えている。

利用控えによる減収などへの支援は、全国的な課題となっていることから、国の責任において支援を行うよう、全国知事会を通じて要望を行っており、引き続き全国知事会と連携し、必要な対応を行っていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 物価高騰から県民の暮らしと生業を守るための課題
- 2 ケア労働者の処遇改善
- 3 気候危機の打開
- 4 統一教会 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



北海道・東北六県議会議長会の要望事項を議決しました

8月29日、盛岡市において、北海道及び東北の各道県議会の議長・副議長が一堂に会し、第143回北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。

会議では、国等への要望議案22件が議決され、全国都道府県議会議長会に提出するとともに、各道県で分担して関係省庁へ要望を行うことを決定しました。

◎議決議案(議決議案の一覧及び本文は県議会ホームページでご覧になれます。)

▶少子化対策・子育て支援の推進について

▶地域医療を担う医師の確保について

ほか20件

北海道・東北六県議会議長会議とは

地域において課題となっている事項について、政府に対する要望事項をとりまとめ、全国都道府県議会議長会議を通じて、要望するために開催されるものです。



北海道・東北六県議会議員研究交流大会が開催されました

8月30日、盛岡市において、北海道及び東北の各道県議会議員の交流と研鑽を図るため、令和4年度北海道・東北六県議会議員研究交流大会が開催されました。

本大会では、株式会社ヘラルポニーの代表取締役社長の松田崇弥氏及び代表取締役副社長の松田文登氏をお招きし、「岩手・東北から障害の概念を変える異彩たち」と題しご講演をいただいたほか、デジタル社会の推進、地球温暖化対策、観光振興策に関する3つの分科会を設け、意見交換を行いました。

北海道・東北六県議会議員研究交流大会とは

各道県議会議員の交流を図ることにより、北海道・東北六県を一層連携を深めるとともに、地域に共通する政策課題等の情報及び意見の交換を通じて議員の研鑽を図り、各議会の活性化と活力に満ちた地域づくりに寄与するために開催されるものです。

県議会からのお知らせ

●インターネット中継

県議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っていますので、ぜひご覧ください。

●岩手県議会公式チャンネル(YouTube)

一般質問等の様子のほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」をYouTubeで動画配信しています。岩手県議会公式チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル 検索



●岩手県議会のフェイスブックもぜひご覧ください

岩手県議会では、県議会に関する情報を広く知っていただくため、岩手県議会Facebookページを開設しています。県議会ホームページの「岩手県議会 Facebook」をクリック! 携帯電話・スマートフォンからはこちら→



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、9月定例会のポスターを作成しました。

むらた ちもか
 岩手県立盛岡農業高等学校 村田 桃華 さん

この作品を作ったきっかけは、県議会をもっとたくさんの人に興味を持ってもらい、より良い街づくりを岩手のたくさんの人としていけたらいいなと思ったからです。この作品の主なコンセプトは、岩手という街を私たちが明るく照らしていきたいという思いです。私たち、若い世代の人が未来の岩手をもっと良い街にしていけることを願って描きました。

